

ともの家 だより

平成25年 夏 第45号
発行 社会福祉法人ともの家

自然な暮らし・普通の暮らしを実現する

～ともの家 運営基本方針より～

〒790-0101 松山市溝辺町甲 94

【Tel】 089-977-8502 【Fax】 089-907-8504

【E-mail】 tomo-home@triton.ocn.ne.jp 【Home Page】 <http://www.tomonoe.jp>



平成 24 年度事業報告

理事長 永和良之助

【決算状況】平成 24 年度の事業収入は 1 億 8913 万円、借入金元金返済後の次期繰越金は 731 万円で、最終利益率は 3.9%であった。

24 年度決算の特筆点は、職員退職金の積立を始めたことにある。金額はわずか 2 百万円にすぎなかったが、今後、毎年積立せていき、少しずつ充実させていきたいと考えている。介護保険制度になって以降、全国的に介護職員の労働環境の悪化・低下が進み、退職金制度の無い事業所が大半であるが、「サービスの質は職員の質によって保証される」を運営理念としている当法人は、職員が安心して働くことができるように、毎年わずかずつでも職員処遇の充実を図りたいと考えている。

【運営状況】グループホームは例年より入院者が多かったため年間入居率は 97.5%だった。6 名の方が永眠され、うち 4 名はホーム内での看取りであった。入居者の平均介護度は 4.1 で昨年度と変わりはないが、身体介助の比重がより高まっている。

小規模多機能は利用者が前年度 5633 名から 6160 名と増加した。平均介護度が 3.2 と他施設よりも介護度が重く、在宅介護が難しく泊まり利用を希望されるケースが多いのが、当法人の特徴である。ご家族の希望により 3 名の方の看取りをさせていただいた。うち 2 名は百歳を超える長寿者であった。

利用者の重度化が進んでいるが屋内だけの介護に終始せず利用者がいきいきとした生活が営めるように、「楽しみづくりと生活の活性化」に努めることを全事業所の目標としていたが、アクティビティー委員会の努力もあり、松山城登山、西条市のアサヒビール園や久万高原町ふるさと村への遠足など「外へ出る」機会を多くつくることができた。特に第二ともの家は、管理者以下の全職員が「外に出る」ことの意義をよく認識し、実践した。

なお、当法人のホームページでは 24 年度決算書、事業報告の全文を公開しているので、関心、必要のある方は参照されたい。

続・介護暇なし日記について



「介護ひまなし日記」一休止・そして再開へー

小規模多機能ホーム第二ともの家 永和里佳子

「介護ひまなし日記」というブログを開いてみると、2012年元旦で更新が止まっている。その後約一年半、記事にすべき事件がなかったわけではない。逆に、「事実は小説より奇なり」、この間に一冊の本が編めてしまうのでは、と思うほど、“介護”の中身は濃いものだった。第二ともの家で百歳を迎えたミチさんの看取り、リツコさんという強烈な徘徊癖を持った方と衝突を乗り越えて絆を築く過程、そしてテルコさん、キミコさん、ヨリコさんというそれぞれ個性豊かな利用者が次々と加わり、泊りは常時6名、通所と合わせると利用者は毎日8名程度となった。同時に他の事業所へと移っていった利用者もおり、職員も利用者も移り変わりが激しい中で、“第2ともの家”という小舟は幾度も揺れ、あわや転覆しかけてはまた持ち直しながら、現在もゆるやかに航海を続けている。この波乱万丈な日々を“日記”という形で残せていないのが腹立たしいが、個人的には2012年を迎えシングルマザーとなった春に第二子を出産、二人の幼子を抱えて管理者・ケアマネージャーとして仕事をこなしていくだけで精一杯で、とてもじっくりと机に向かうことすらできない状況だったことをご理解いただきたい。

が、このたび理事長から“介護ひまなし日記”を再開するようにとわれ、湧き上がる後悔と欲望とを感じる。「書けない」を理由に書かなかったものたちが埋没してしまっている。さらに“暇なし”な身となった今こそ、言い訳やごまかしをせず、毎日起こる事象に丁寧に向き合い、ひも解いていかねばならないのかもしれない。新しい“介護ひまなし日記”にご期待あれ。

これまでの『介護ひまなし日記』は
ともの家ホームページに記載されています

<http://www.tomonoie.jp>

ぜひご覧ください。

合同遠足と行事

吉海町 バラ公園へ

～あるご家族からの感想です～

何年かぶりに夫と訪れることが出来たバラ公園は、何倍にもその種類と株数を増やし、誇らしげに可憐にまた華やかに、色とりどりのバラが咲きあふれていました。

お天気にも恵まれ、私たちは、ゆっくりと歩きながら、バラの香りと海から吹き渡る風を満喫しました。お昼ご飯もおいしく頂き、まるで王様と女王様になったような、ゆったりとした気分で満開のバラ園をあとにしました。



夏祭り

小規模多機能ホームともの家 青木博保

7月27日、毎年恒例の「ともの家の夏祭り」が開催されました。おりしも丁度「瀬戸の夕凧」で風もなく蒸し暑い中の夏祭りでしたが、参加された皆さん男性は甚平さん、女性は浴衣と夏祭り気分は最高！利用者様のご家族の参加もあり、皆さん和気あいあいと楽しい一時を過ごされました。

小規模からも4名のご家族をはじめ、多数が参加され、皆さん思い思いのスタイルで素麺を食べたり、田舎寿司を食べたり満足そうでした。Uさんは、素麺をおかわりされた後、大好きなスイカを口いっぱい頬張っていました。Yさんに「楽しいですか？」とお聞きすると「ええなあ。」と本当に楽しそうにご満悦！Yさんの「ええなあ。」は本当に嬉しいとき楽しいときに出る言葉…良かった！

また、Nさんは音楽が聞こえてくると手で調子をとっておられ、やはり満足されておられるようでした。Yさんも娘さんの着付けで浴衣を着られ、本当に嬉しそう！



祭りのフィナーレは「炭坑節」「東京音頭」で締めくくり、楽しい一時も終わりです。
参加された皆様暑い中、参加していただきありがとうございました。



西条アサヒビール工場見学

アクティビティ委員長 古川晃

昨年も行った西条のアサヒビール工場へ、夏の遠足として行ってきました。
車椅子の台数制限（災害時の安全確保のため）もあり、昨年より参加人数の少ない遠足となりました。昨年参加していないお年寄りを中心に、参加者を募り計36名での遠足となりました。

バス内では、順番に自己紹介をしたり、歌の得意な方は歌われました。小規模のMさんは、得意な詩吟を披露して下さいました。

到着し、昼食。皆さん、いつもより多く召し上がってご満悦な様子でした。中には、「ともの家の食事の方がええ。」と言われた方もおられましたが…。

食後は、工場の見学へ。長い廊下の両側のガラス窓から、ビールのできる工程を見学され「へえ〜。」「知らなかった。」と興味津津でした。



見学後は、待ちに待った試飲会です。ビールを飲まれる方、ジュースを飲まれる方とそれぞれでしたが、歩き疲れた後のビールは、格別なようで皆さん美味しそうに飲まれていました。



西条と遠くへの外出でしたが、皆さん喜ばれておられたように思います。これからもできるだけ多くのお年寄りに参加していただき、外の刺激に触れていただけたらと思いました。





お別れ欄 ～ともに過ごした時間を忘れません～

【溝辺ともの家】 吉村ユリ子さん 平成 25 年 6 月 14 日逝去。享年 88 歳



溝辺ともの家への入所が決まった時には、正直ホッとしました。「これで、最期まで安心して生活することができる」・・・というのも、吉村さん自身、独居生活が困難となりながらも落ち着いて生活できる居場所が見つからなかったからだ。

入所してからの吉村さんは、本当にパワフルで・・・周囲を明るく元気にさせてくれた。リビングのテーブルに肘をつき、人の観察をしながら、「えへへえ。えへへえ」と独特の笑いで職員を魅了する・・・いつも中心的な存在となっており、人に説教している・・・と思いきや、今度は居室で娘さんたちに説教されている (><)。寂しがり屋をカモフラージュするために口では強がりを書いてみせる。私のことを「ノリちゃん」「ノリちゃん」と呼び、甘えてくれる。もっと「ノリちゃん」と呼ばれ続けたかったナ・・・。

半年足らずという短い期間ではあったが、イチゴ狩り・自衛隊音楽会・外食・ドライブなどお出かけ行事に参加し、毎週の生け花では真剣な顔で取り組んでいる姿が写真に残されている。入院よりもここでの生活を選択され、最期まで職員を気遣い、迷惑をかけまいと頑張っておられた姿を思い出すと、今でも涙が出てくる。ここでの生活が吉村さんにとって充実した楽しい時間であったと信じたい。

『呼吸器と酸素がなくなったので、これからは行きたい所へ自由に行けますね。今までお疲れさまでした。いつも娘さんたちに助けてもらい、心強かったと思います。今度は、娘さんたちを見守ってあげて下さい。数々の楽しい思い出ありがとうございました。』

二宮美和子

【溝辺ともの家】 山口玲子さん 平成 25 年 8 月 20 日逝去。享年 92 歳



山口さんに初めてお会いしたのは、ともの家の高齢者住宅に住んでおられた頃。今から 5 年ほど前のことです。

その頃の山口さんは、毎朝 5 時に起床し仏様に供えるためのご飯を、台所まで取りに来られていました。その時、すでに身支度を整えられ、薄化粧。いつでも笑みを絶やさず、口数少なく静かに佇んでおられた姿が印象的でした。

その後お一人での生活が難しくなったため、グループホーム溝辺ともの家に入居され、私が再び時間をともに過ごすことになった平成24年8月の山口さんは、シルバーカーや歩行器を自在に操り、移動。(一時期食が細くなったこともありましたが見事復活され) 食欲旺盛で、どんな料理も器用にお箸で完食。排泄、入浴時など【自分のことは自分で】という意味での、強く時には激しい自己主張。音楽が聴こえれば、手足で拍子を取り、お声をかければ「なあに?」「そうかね。」と優しく応えてくれる。はじめてお会いした時の印象とは少々違いますが、心臓に大きな病を抱えていることを忘れるくらいの暮らしぶりでした。

7月の下旬頃より少しずつ食事量が減り、横になられている時間が増えてこられました。それから約1カ月間、山口さんは、私たちに心の準備をする時間を下さったように思います。ドクターからも「よく頑張っておられます。」との言葉ももらうほど、年齢からも持病からも考えられないほど力強く生きられていました。

山口さんがよく口にされていた、「お父さん」「お母さん」に会えたでしょうか。最愛の息子「クニちゃん」にも会えたでしょうか。山口玲子さん本当にありがとうございました。
山岡理紗

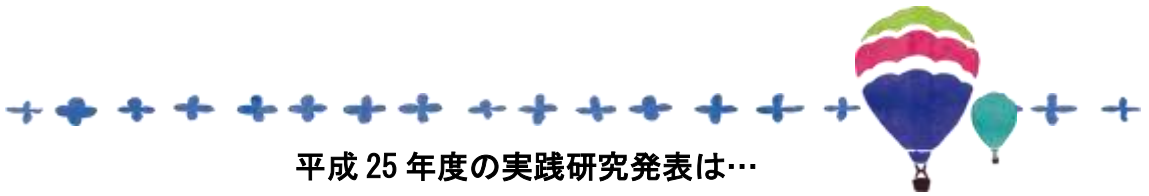
【溝辺ともの家】 川上敏夫さん 平成25年8月23日逝去。享年87歳

穏やかな方だった。入所してすぐに、利用者さんと私たち職員の名前を覚えてくださった。リハビリにも意欲的で、一日に何度かは手すりにつかまり、屈伸運動をしておられた。摂食体操では、大きな声で「皆さん一緒に！ア～」とリーダーを務められた。利用者さんの歩行練習に「〇〇さん頑張って！もう少し」と励ましの言葉をかけてくださった。私たち職員には、いつも労いの言葉をくださった。

そんな、優しく思いやりに満ちた川上さんだが、時折、自分の思いをぶつけてこられることがあった。「普通のもので食べたい。(ミキサー食でなく)」と…。私たちにとっては、ごく当たり前のことただだけに、切ない気持で一杯になった。食べられないという辛さが解らない私たちに、川上さんの気持ちが、どこまで理解できていただろう。とても大切なことを学ばせて頂いたように思う。

川上さん。本当にお疲れ様でした。今頃、天国で、大好物の刺身を食べながら、大好きな囲碁を楽しんでおられることでしょう。ありがとうございました。 高岡明子





平成 25 年度の実践研究発表は…

昨年までは、各事業所の中堅職員が中心となっていた実践研究でしたが
今年、各事業所の主任が中心となって実践研究をすすめています。

テーマ

- アンジュール 『大腿骨頸部骨折後の歩行支援への取り組み』
- この道 『胃ろう造設者のQOL向上への取り組み』
- 溝辺 『医療依存度の高い認知症高齢者のQOL向上への取り組み』
- 小規模 『介護事故ゼロへの取り組み』
- 小規模第二 『困難事例への取り組み (仮)』

発表会日程

平成 25 年 11 月 11 日(月) 「小規模・溝辺・この道」
11 月 25 日(月) 「アンジュール・小規模第二」

お気軽にお越しください。



お知らせ

前・ともの家家族会会長の中林重祐さんが実行委員長として取り組んでいる
チャリティーコンサート『金剛山歌劇団愛媛公演』に協賛しています



日時：平成 25 年 11 月 5 日(火)

開場 18:00 開演 18:30

場所：松山市総合コミュニティセンター

キャメリアホール

入場券：自由席 2,999 円 指定席 5,000 円

※チケット預かっています(永和まで)

主な演目

音楽と語りと合唱「未来へ」

ソグヘム独奏と舞踊「私の愛する花」

女性独唱、管楽器四重奏と女性三部合唱「メドレー」

男性独唱「遙かなる道、日本の歌」

群舞「チョチョン舞、パクチョン舞」

女性独唱と混声重唱「朝鮮民謡メドレー」

金剛山歌劇団とは…

東京都小平市にある在日コリアン総合アーティスト集団

詳しくはコチラをご覧ください → <http://www.kot-jp.com/>

「はじめよう！ 集団回収」
～家庭の資源すべて回収します～

古紙 アルミ缶 ペットボトル

古着 その他金属類

カネシロ 089-973-2480

資源の集団回収をはじめます 初回収日：平成 25 年 9 月 30 日(月)



と、ある社会福祉法人でボランティア有志が古紙等の資源回収を行い年間 8～10 万円の収入を得ているとの情報を得た理事長。

早速、環境整備委員長をよび業者選定を指示。交渉の結果カネシロ（株）に決定しました。アルミ缶、ペットボトル等ご協力お願いします。業者回収日までにお持ち下さい。持ち込みが難しい方には軽トラで回収いたします。月 1 回の予定で行います。（チラシ参照）

第 28 回 バザーロビー展 開催いたします

平成 25 年 9 月 29 日(日) 10 時～13 時



喫茶・軽食コーナー(カレー、シフォンケーキ、コーヒー)
砥部焼の展示販売、ばら寿司・おはぎ・野菜の販売もあります。
バザーに出品のための余剰品をぜひお持ちください。

ありがとう欄

紙芝居 おはなしの会 坂本史子さん 坊城絹子さん / 生け花 松下章子さん

ピアノ演奏会 ピアノ教室の越智先生と生徒の皆さん

編集後記

夏は暑いもの…そう思っても耐えられないこの暑さ。連日、熱中症で〇〇人病院へ救急搬送などと報道されています。こどもの家の室内は、快適な温度と湿度に保たれるよう努めています。ある日、暑い暑いという職員を見たお年寄りが、「本当に？」と疑いの目。「ちょっと外に出てみる。」と窓を開け、テラスへ出られました。

「ん…。」15 秒ほどでぐるりと室内へ引き返したのを見て、私たちの温度管理はうまくいっている！とホッとした私でした。山岡(溝)

